



本校ホームページ

石 二 小 だ よ り

第 19 号 令和元年 12 月 20 日 (金)

発行・文責：木村 恵子

82 日間の第 2 学期まもなく終了！



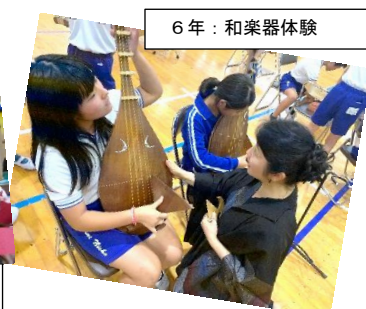
5年：宿泊活動



1・2年水泳記録会



3年：学習発表会



6年：和楽器体験

82日間の2学期も残すところ1日となりました。様々な行事、校外学習、出前講座などの活動を通して、子どもたちが大きく成長する姿が見られ、職員一同喜んでおります。これは、ひとえに保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。また、今学期は自然災害に見舞われましたが、本校も避難所として地域の方々のお役に立つことができ大変嬉しく思います。これからも「地域に貢献する学校」を目指していく所存ですので、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。保護者の皆様が良い年を迎えられることを、職員一同心より願っております。

劇で報徳仕法について学んだ4年生！

～12/10 サイエンスラボによる出前講座～

4年生が、サイエンスラボの出前講座で「報徳仕法」について学びました。聞くだけの講義ではなく、劇で役割を演じながら、石神地区に御仕法が広まっていく様子を体験する学習となりました。



報徳仕法の博士がきて教えてくれました。劇でぼくは富田高慶になりました。「二宮先生、私を弟子にしてください。」を4回繰り返す台詞があります。その時代に4ヶ月間毎日尊徳さんのところに通っていたことにびっくりしました。高慶さんはすごい人だと思いました。尊徳さんは第一の弟子にしたそうです。報徳仕法をもう少し調べてみたいです。 4年 池田

今回、報徳仕法をわかりやすくこどもたちに教えて欲しいというご依頼を受け、市内の小学四年生全員に配布されている「尊徳と高慶の贈り物」を元にした時代劇の台本を作りました。こどもたちはそれぞれ、藩主、家老、家臣、役人、村人、馬などに扮して、短いセリフを口に出すことで、天明・天保の飢饉から復興を成し遂げたふるさとの歴史を楽しく学んでいました。報徳仕法は、江戸時代の古臭いものではなく、現代においても災害復興などに役立つ優れた考え方として世界中で高い評価を受けています。今回の授業がこどもたちのふるさとへの誇りにつながることを期待しています。ありがとうございました。



南相馬サイエンスラボ 理事長 齋藤 実

相馬中村藩は6万石だったけれど、天明のきさんの時、との様の命令で米をせつやくすることになりました。次のとの様がお米などを人々に分け与えました。相馬みちたねさんが倉庫に米をいっぱいためていたことを知って、何かのために米をためておくのは大事なことだと思いました。富田高慶が二宮先生の所に4ヶ月も通って弟子にしてもらい石神の人たちにいろいろ教えてくれて石神にたくさん田んぼができたことに感しゃしています。 4年 宮川



児童アンケート・保護者アンケート結果より

過日は保護者の皆様にアンケートのご協力をいただきありがとうございました。その結果がまとまりましたので、以下に概要をお知らせします。

結果は、右のグラフのようになりました。なお、今回は4つの群で回答をしていただきましたが、肯定的回答（A：当てはまる B：やや当てはまる）と否定的回答（C：あまり当てはまらない D：当てはまらない）の大きく2つの群で集計しました。グラフの黒い部分が肯定的回答です。以下にその内容と考察をお知らせします。

児童アンケート

【実施日】令和元年12月

【調査人数】265名

【考察】

- ・全ての項目で、肯定的回答が8割をこえていることから、子どもたちが学校生活を楽しみ、学習や各種活動に取り組んでいることがわかる。
- ・日直や当番・係活動・委員会活動にも熱心に取り組んでいる。
- ・家庭でも勉強に取り組んでいる児童が9割を越えている。
- ・先生は子どもの頑張りを認めたり、困っている時に助けをくれたりしている。
- ・今後は、「自分の良いところに気づくこと」と「自分の考えを伝える」力を伸ばしていきたい。

保護者アンケート

【実施日】令和元年12月

【調査人数】243名

【考察】

- ・ほとんどの項目で、肯定的回答が9割をこえており、保護者の皆さんが子どもたちの姿を温かく受け止めていることがわかる。
- ・保護者は、学校が分かりやすい授業を行い、子どものがんばりを認め、問題解決も適切に行っていると感じている。
- ・今後、のびが期待されるのは「家庭における読書」と「子どもの将来の夢や目標を知っていること」の2点である。学校でも家庭と協力して働きかけを工夫したい。

令和元年度 学校評価アンケート集計結果（児童用）

左:肯定的回答(A+B) 右:否定的回答(C+D)



令和元年度 学校評価アンケート集計結果（保護者）

左:肯定的回答(A+B) 右:否定的回答(C+D)



今回は数値の部分についての結果をお知らせしました。その他、「行事等に関する感想や意見」については今後の学校運営に生かしていく方向で考えております。しかし、全ての意見に対応することは困難ですので、児童の実態・地域の実情・教職員の負担などを総合的に検討し、改善を加えていく予定です。1月にお知らせします。